

子育て支援②

（市立保育園一時預かり保育事業、産後ケア事業 等）

アナ： 「市長が語る 2015 三島」第7回の今日は、4月の第2回の放送に引き続き、三島市のきめ細かな子育て支援事業についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いいたします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： このたび、三島市立錦田保育園で、一時預かり保育事業を開始されたということですが、事業内容についてご説明いただけますか。

市長： 三島市では、緊急時や一時的にお子様を預けたいという保護者の皆様のニーズにお応えするため、市内の公立保育園では初めてとなる一時預かり保育事業を、本年5月11日より開始いたしました。

場所は、三島市谷田にあります三島市立錦田保育園内の「なかよしルーム」で、三島市にお住いの、保育園等に通っていない、おおむね6ヵ月から就学前のお子様を対象となります。

アナ： お預かりできる時間や料金等を教えてください。

市長： お預かりできるのは、年末年始を除く平日、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後4時30分までで、料金は、3歳未満のお子様は一日当たり1,500円、3歳以上のお子様は1,000円となります。保護者の方々が利用しやすい料金設定にいたしました。

アナ： 料金が大変に安いので市民の皆さんも利用しやすいですね。では、利用する場合、どのような手続きが必要ですか。

市長： 毎月、申し込みの締め切り日がございます。また、利用できる保育形態や日数など、いくつかのパターンがあります。詳しくは、錦田保育園一時預かり保育専用ダイヤルまたは子ども保育課までお問い合わせください。お問い合わせの電話番号は広報みしま5月1日号でもお知らせしています。

アナ： ところで、昨年、厚生労働省のモデル事業として全国29市町の一つに選ばれ、「産後ケア事業」が開始されましたが、大変に好評のようですね。

市長： はい。「産後ケア事業」とは出産、退院後に、周りから手を借りることのできないお母さんと赤ちゃんが、三島市内にある田中産婦人科医院に宿泊して、生活リズムをつくるための指導を受けるものですが、利用された方から「大変ありがたい。」というお言葉をいただいております。今年度は、4泊5日まで利用日数を延長し、さらに満足いただけるよう充実したところです。

アナ： 出産後、身近に頼れる方がいない場合、お母さんは大変に不安だと思います。この事業によって三島で安心して子育てを始められることができますね。

今年度は、そのほかにも、多くの子育て支援事業に取り組まれるようですね。

市長： はい。すでに4月から動き始めました「みしまめ育児サポーター派遣事業」は、双子をお持ちのご家庭を応援しようと、保育士がご家庭を訪問して、子育てのサポートを行っていて、これもまた、お母さんたちから大変喜ばれています。さらに今後は、お父さん向けの子育て情報誌も作成していきます。

また、この4月から、子ども医療費が中学生まで無料となり、放課後児童クラブについては、対象を小学校3年生までから6年生までに拡大しました。

「子どもは地域の宝事業」は今年度で5年目を迎え、各自治会で趣向を凝らしたお祝い会を開催して下さっています。

アナ： 三島市はますます子育てをしやすいまちになっていますね。

市長： 未来を担う三島の子どもたちが健やかに育ち、そして、ご家族が安心して子育てができる環境を整えるため、これからも様々な支援を展開していきます。そして、将来、三島の子どもたちが、ふるさとである三島を誇りに感じる大人に育ってくれることを願っております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。